

横浜国立大学剣友会 幹事会議事録

実施日 2006年4月22日 18:30~

場所 関内 いき魚亭

参加者 天野 美馬 麻生 宮部 蔵原 南 種子島 岩城
幡野 石川 栗本 中川 大塚 (記) (計13名、敬称略)

●議題1 横浜国立大学剣友会 決算報告案について

【栗本幹事より報告】

- ・平17年4月1日~平18年3月31日までとして報告する。
- ・幹事長からの来年度の繰越金の目標額100万という点に対し予定では92万程度であるが、寄付金も含めて考慮すると順調である。

【決定事項】

- ・寄付金に対して個人名を記載する。
 - ・繰越金の用途について、「40周年記念行事用に積み立てる」という記載をもって目的を明確にする。
 - ・40周年記念行事用の積立に対し、その内訳をできるだけ記載するようにする。
 - ・「定常的に運営する資金が不足し、更に40周年に必要な経費がある」という点を盛り込めるようにする。
- 栗本会計幹事が検討してOB総会の案内に同封する

●議題2 前回議題に挙げた功労者への感謝状についての確認

【天野名誉会長より確認】

- ・今まで貢献した人に対して40周年記念行事で表彰したい。

【決定事項】

- ・功労賞の表彰を行う。ただし、対象者はある年齢(60歳または65歳)以上となった方とする。

●議題3 年会費の集金方法

【中川幹事より報告】

- ・今年検討し、早くて来年から実施したい。
- ・前回報告した引き落とし案は収入がはっきりする、確実に毎年集金できる等の利点があるが、会員の口座管理のリスクを考慮すると良い手段とは言えないので見送りたい。
- ・振り込み案として、コンビニで払い込める用紙を配布する方法があるが、5~6万円(20~30人相当)を負担する必要がある。配布数に対してどのくらいの集金が見込めるか未知数であるので、アンケートで見極めを行い見込みがあるのであれば実施したい。
- ・今後も更に良い方法があるかもしれないので調査は継続する。

【決定事項】

- ・引き落とし案は見送り。
- ・コンビニ振込みに対してアンケートは行わずバリエーションを増やすという方向で話を進め、見込みがありそうなら実施する。

【議論：前回幹事会であった若い年代に対しどう回収率を向上させるか】

- ・若い年代の回収率があまり良くない。
- ・これから卒業する学生に対してOB会を身近なものにし、いかに回収率をあげるかを考える必要があるのではないか。

【決定事項】

- ・剣友会として努力する。具体的な案件に対しては、中川幹事・大塚幹事の方で考え提案する。

●議題4 40周年記念行事の運営について

【栗本幹事より報告】

(場所)

- ・稽古は大学アリーナを予定している。現段階で使用条件は未調査。
- ・40周年記念行事は100人集めることを前提とした場所を考えている。

(内容)

《昼》

- ・OBを中心とした試合(団体戦・年代別個人戦・紅白戦など)

・型や居合いの演舞。

《夜》

- ・宮本先輩のNHKドキュメントを会場で流す。
- ・試合の結果で表彰。

- ・記念品を出す。

【決定事項】

- ・大学アリーナの予約方法について調査する。基本的に使用する方向で調整する。(大塚幹事担当)
- ・場所は幾つかの候補を挙げる。(栗本幹事担当)
- OB総会の場所については100名収容という前提で候補を探し、費用見積も実施する
- ・昼の試合(稽古)は行う。
- ・試合を行う。(形式は未定)
- ・型や居合いの演舞を行う。
- ・宮本先輩のNHKドキュメントを会場で流す。
- ・功労者に対して表彰を行う。
- ・昼の試合の結果で表彰する。
- ・記念品は会費を払った人(例:手拭いなど)、足を運んだ人(例:紅白まんじゅうなど)に対してそれぞれ出す。

【議論:女性をどのようにあつめるか】

- ・家庭の問題がある。例えば子供のいる会員に対して子供を預けられるようにするなど。

【決定事項】

- ・何かしら考える。(南幹事担当)

以上です。
樺山